



第 17094912001-0101 号 page 1/3

2017年(平成29年)09月22日

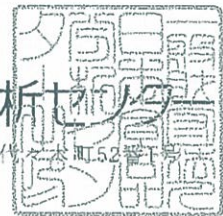
試験報告書

依頼者 オーブ・テック株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 スペースショット 万能環境クリーナー

表題 殺菌効果試験

2017年(平成29年)08月21日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



殺菌効果試験

1 依頼者

オーブ・テック株式会社

2 検体

スペースショット 万能環境クリーナー

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数(/mL)			
		開始時	1分後	3分後	5分後
大腸菌	検体	—	<10*	<10*	<10*
	対照	9.1×10 ⁵	—	—	7.2×10 ⁵
黄色ブドウ球菌	検体	—	8.4×10 ⁴ *	4.4×10 ³ *	5.2×10 ² *
	対照	5.5×10 ⁵	—	—	5.0×10 ⁵

<10: 検出せず

保存温度: 室温

対照: 精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

* 試験菌以外の菌を認める。



表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌)
	試験菌① 前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
	試験菌② 前培養：普通寒天培地, 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	1分, 3分, 5分(室温)	
対照	試験菌①：精製水 試験菌②：生理食塩水	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈	
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混積平板培養法	35 °C ± 1 °C, 2日間

以上